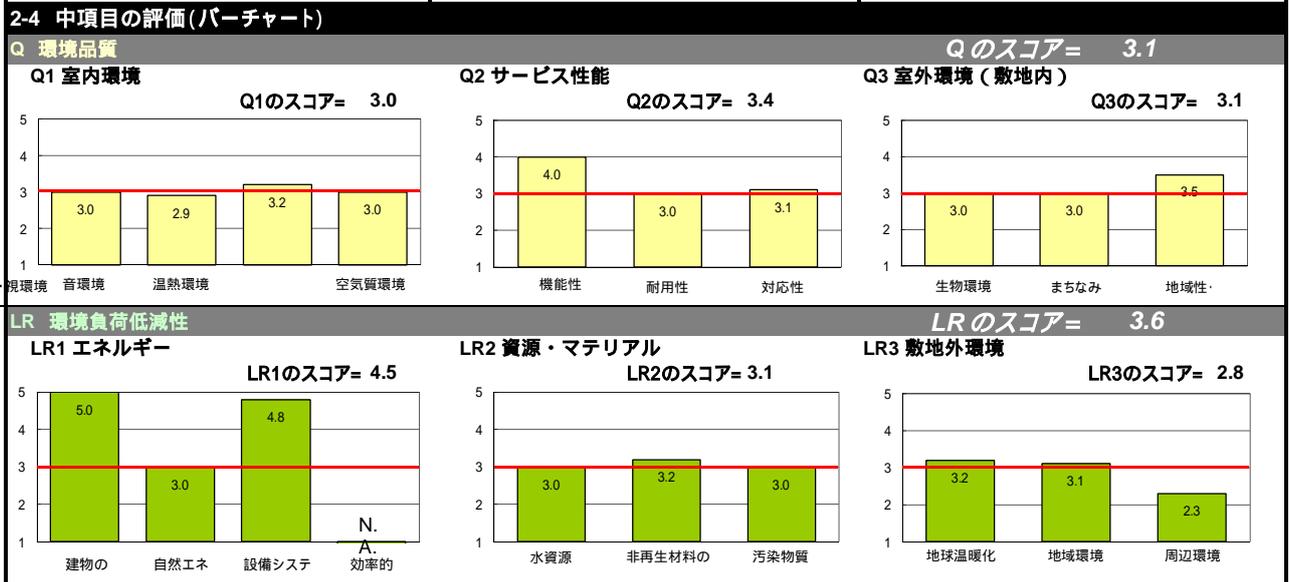
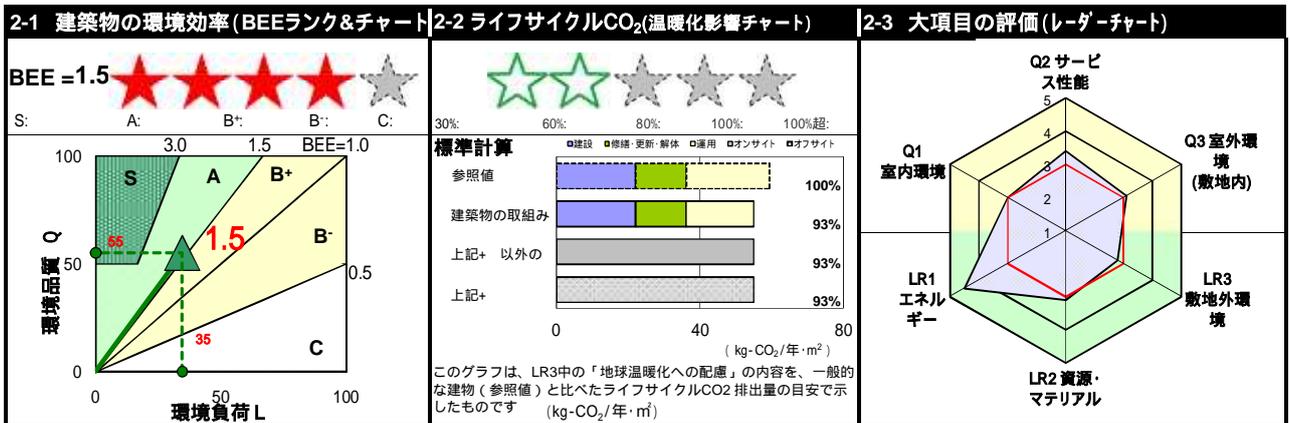


# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.5)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フラット鎌倉岩瀬	階数	地上7F
建設地	鎌倉市岩瀬1丁目27-15,27-20	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	422 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2013年5月14日
敷地面積	4,899 m <sup>2</sup>	作成者	竹中工務店東京一級建築士事務所
建築面積	2,211 m <sup>2</sup>	確認日	2012年5月14日
延床面積	11,500 m <sup>2</sup>	確認者	竹中工務店東京一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
「鎌倉」エリアの一角にある建物として、地域に馴染む風合いの外装、渋みのある和風なアプローチなどを設定し、良好な内外環境をもつ共同住宅を計画する。		道路や植樹の多い公園の提供など、地域環境の向上に寄与する開発計画を行っている。
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>
共用部の換気量は、30 m <sup>3</sup> /h・人とし基準法の1.5倍としている。	耐久性の高い躯体を骨格とする他に、液状化対策として住棟以外にも杭を打設するなど、維持耐久性の高い建物としている。	共用部に特に風が抜けるように計画し、中庭を設け、数値上の環境性能だけでなく感覚の上でも自然や四季が感じられる計画としている。
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
LED照明(専用部・共用部)、ディスプレイの標準装備など省エネルギー、省資源に寄与する計画としている。	一部にてリサイクル材の利用、また躯体と仕上の分離し、やすい工法を採用するなどとしている。	雨水貯留槽を設置し、自敷地雨水が周囲に一挙に大量に放出されない施設を有している。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される